

令和元年度 事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

令和元年度事業の実施につきましては、九州運輸局をはじめ、関係機関、関係諸団体並びに関係業界各位の絶大なるご支援をいただき、また、会員の皆様方のご協力のお陰をもちまして、公益事業等を実施することが出来ましたので、その概要をご報告申し上げます。

I. 公益目的事業

1. 体験活動等（公益目的事業の区分 4）

(1) 海の教室 ～船との出会い事業～

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・港湾などの海洋産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業や海洋について認識を深め、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

このため、海事関係施設の見学会や船舶を利用した乗船ウォッチングなどの体験型学習会を九州運輸局並びに関係団体等との共催により、次のとおり実施しました。

a. 乗船体験など（実施件数 4 件、参加者数 259 人）

① 8 月 3 日（土）福岡市 UMI アカデミー参加の小学生と保護者 48 人

乗船体験：福岡市「きんいん 3」

博多港港内見学 博多ふ頭～アイランドシティ

主催：九州運輸局

② 8 月 8 日（木）北九州市 一般公募の小中学生と保護者 71 人

乗船体験：大島商船高等専門学校練習船「大島丸」

関門海峡体験航海

講習：「北九州港紹介」

主催：北九州市港湾空港局、（一社）日本船主協会、大島商船高等専門学校

③ 8 月 9 日（金）下関市 下関市教育委員会、小学校教諭 6 人

一般公募の小中学生と保護者 106 人

乗船体験：大島商船高等専門学校練習船「大島丸」

関門海峡体験航海

講習：「下関港の概要」、「船と船員」

主催：下関市港湾局、(一社)日本船主協会、大島商船高等専門学校

④ 9 月 25 日 (水) 熊本 宇城市立小川小学校 5 年生、保護者、先生 28 人

乗船体験：熊本フェリー 乗船見学 熊本～島原

：有明フェリー 乗船見学 田平～長洲

施設見学：JMU (株)有明工場 造船所見学

主催：九州運輸局熊本運輸支局

b. 海事産業関連施設の見学会 (実施件数 14 件、参加者数 21,255 人)

① 5 月 25 日 (土) ～ 26 日 (日) 北九州市 一般市民 1,800 人

施設見学：JMETS 練習船「銀河丸」

入港歓迎、シップスクール、船内一般見学等

主催：北九州市港湾空港局、(一社)北九州港振興協会

② 8 月 19 日 (月) 別府市 南子育て仲よしクラブ、光の園子どもクラブ 40 人

施設見学：(株)フェリーさんふらわあ、「さんふらわあこぼると」

講習：「新聞づくり講習会」

主催：(公財)日本海事広報協会

③ 8 月 22 日 (木) 宇部市 宇部市教育委員会、小中学校教諭 24 人

施設見学：宇部興産(株)

構内見学：石炭荷役、貯炭場、コンテナターミナル

講習：「船員の仕事について」

主催：九州運輸局下関海事事務所

④ 9 月 30 日 (月) 下関市 下関市立豊田小学校 5 年生、教諭 8 人

施設見学：長州出島 (コンテナターミナル)、下関港国際ターミナル

釜関フェリー(株)「星希」

主催：下関市港湾局、(一社)日本船主協会

⑤ 10 月 1 日 (火) 下関市 下関市立王江小学校 5 年生 21 人、教諭 2 人

施設見学：下関港国際ターミナル、関釜フェリー(株)「はまゆう」

- 主催：下関市港湾局、(一社)日本船主協会
- ⑥ 10月11日(金) 下関市 下関市立生野小学校6年生 52人、教諭3人
施設見学：下関港国際ターミナル、関釜フェリー(株)「はまゆう」
主催：下関市港湾局、(一社)日本船主協会
- ⑦ 10月21日(月) 下関市 下関市立垢田小学校5年生 51人、教諭3人
施設見学：長州出島(コンテナターミナル)、関釜フェリー(株)「はまゆう」
主催：九州運輸局下関海事事務所
- ⑧ 10月31日(木) 下関市 下関市立菊川中学校、木屋川中学校、東部中学校、長成中学校、長府中学校生徒 40人、教諭10人
施設見学：下関港国際ターミナル、関釜フェリー(株)「はまゆう」
主催：下関市港湾局、(一社)日本船主協会
- ⑨ 11月13日(水) 長崎市 長崎県立長崎工業高校機械システム科
生徒 40人、教諭2人
施設見学：JMU(株)有明事業所、日立造船(株)有明工場
主催：九州運輸局
- ⑩ 11月16日(土)～17日(日) 北九州市 一般市民 1万9千人
施設見学：練習帆船「みらいへ」練習船「青雲丸」浚渫船「海翔丸」
巡視船「くにさき」補給艦「ましゅう」監視艇「げんかい」
一般公開、シップスクールほか
(北九州港開港130周年記念事業「130周年だよ！船舶集合！」)
主催：北九州港開港130周年記念事業実行委員会
- ⑪ 11月19日(火) 唐津市 唐津海上技術学校2年生 36人、教諭2人
施設見学：東亜工機(株)、(株)名村造船所
主催：九州運輸局佐賀運輸支局
- ⑫ 11月19日(火) 大分市 津久見市立千怒小学校5・6年生 46人、教諭4人
施設見学：日本製鉄(株)大分製鉄所、大分コンテナターミナル
主催：九州運輸局大分運輸支局、九州地区船員対策連絡協議会
- ⑬ 1月30日(木) 長崎市 口之津海上技術学校1年生 27人、教諭2人
施設見学：(有)秀巧社、三菱重工業(株)長崎造船所 香焼工場
主催：九州運輸局長崎運輸支局
- ⑭ 1月31日(金) 鹿児島市 鹿児島県立鹿児島水産高等学校

3年生 40人、教諭 2人

施設見学：練習帆船「海王丸」

主催：九州運輸局鹿児島運輸支局

合計 (a) + (b) = 実施件数 18件 参加者数 21,514人

2. 海の日、海の月間（公益目的事業の区分8）

(1) 「海の日」「海の月間」関連行事広報

「海の日」「海の月間」を迎えるにあたり、国土交通省主唱の下、各地で実施される「海の日」・「海の月間」の関連事業として、九州管内で行われる各種イベントについて、令和元年「海の月間」行事案内としてまとめ2,000部作成し、会員、関係機関、中学校、報道機関などに配布、広報を行いました。

(2) 「海の日」における海事功労者の表彰式典

令和元年「海の日」にあたり、海事関係者功労者表彰式が、北九州市では7月17日（水）プレミアホテル門司港において、九州運輸局、九州地方整備局、第七管区海上保安本部、北九州海の日協賛会により執り行われました。

また、管内各地区において実施される「海の日」式典及び諸行事について各地区の協賛会などと協賛しました。

【北九州海の日協賛会】

○被表彰者（55名、2団体）

国土交通大臣表彰	3名・1団体
海上保安庁長官表彰	7名
九州運輸局長表彰	7名
九州地方整備局長表彰	11名・1団体
第七管区海上保安本部長表彰	2名
北九州海の日協賛会長表彰	25名

【九州運輸局管内（11地区）運輸局関係の表彰者】

○被表彰者（61名）

- 1 国土交通大臣表彰 12名

本局（２）福岡（２）佐賀（１）長崎（１）佐世保（１）熊本（１）大分（２）
宮崎（１）下関（１）

2 九州運輸局長表彰 49 名

本局（４）福岡（５）若松（２）佐賀（２）長崎（14）佐世保（２）熊本（１）
大分（７）宮崎（２）鹿児島（７）下関（３）

3. 表彰、コンクール

(1) 第 56 回中学生海の絵画コンクール（九州・山口地区）

7 月 4 日（木）審査員 2 名（穴吹（示現会会員）、綿引（新世紀美術協会会員））により審査を行い、金賞 1 点、銀賞 3 点、銅賞 6 点、佳作 30 点の入選作品、優秀校 1 校を決定しました。

入賞作品は、次の場所で展示会を開催しました。

北九州会場

・7 月 15 日（月）～ 31 日（水）（金・銀・銅・佳作 40 点）

門司港レトロ地区 旧門司税関 1 F 観覧者数 8,839 人

佐世保会場

・8 月 15 日（木）～ 20 日（火）（佐世保地区の応募作品を展示）

佐世保市 佐世保玉屋画廊 観覧者数約 560 人

入選者については、各運輸支局、中学校を通じ、賞状と賞品を贈呈し、応募者全員に参加賞を送付しました。入賞作品、感想文を当協会会報、ホームページで紹介しました。また、入選作品 40 点が全日本海員組合機関誌「海員」9 月号に掲載されました。

4. 上記の事業区分に該当しない事業（公益目的事業の区分 18）

(1) 海事知識の普及事業

「海の日」・「海の月間」関連行事やモーターボート競走場などで行われている各種イベント会場を活用して、小中学生を中心とした海事思想普及のための資料や海の日グッズなどの配布を行いました。

モーターボート競走事業とタイアップした海事知識普及事業として「日本の海を愛するパネル展」を（一財）日本モーターボート競走会からの受託事業として次のとおり実施しました。

・令和元年 6 月 15 日（土） ボートレース大村 スポーツニッポン杯

- ・令和元年 6月22日（土） ボートレース若松
ヴィーナスシリーズ第4戦マクール杯
- ・令和元年 7月 6日（土） ボートレース下関
ヴィーナスシリーズ第5戦日本スポーツエージェントカップ
- ・令和元年 7月21日（日） ボートレース福岡
サマーバトルフェスティバル
- ・令和元年 8月 3日（土） ボートレースからつ
ヴィーナスシリーズ第7戦RKBラジオ杯
- ・令和元年 8月25日（日） ボートレース芦屋 ちびっ子カーニバル

Ⅱ. その他の事業（相互扶助等の事業）

1. 他の団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行配布

(1) 他の団体との連携事業

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の協賛等を行いました。

- ・海の仕事へのパスポート セミナーや造船所見学会を実施

令和元年7月12日（金）（公財）日本海事広報協会が主催した、海洋キャリアセミナーとして「海の仕事へのパスポート」が大分県佐伯市の米水津中学校、鶴見中学校で開催されました。

造船所見学や海で働く方々を講師として招き交流を深めました。

- ・全国ビーチウォーク&クリーンアップ作戦

令和元年7月14日（日）北九州市港湾空港局、（一社）北九州港振興協会（北九州海の日協賛会）が中心となって西海岸地区、レトロ地区で実施しました。
清掃、啓発グッズの配布

令和元年7月28日（日）南さつま市、教育委員会、南さつま市子ども会育成連絡協議会による新川海岸（吹上浜）クリーン作戦が実施されました。清掃、啓発グッズの配布

- ・関門港ボート天国

令和元年7月14日（日）関門港ボート天国推進協議会主催によるボート天国が開催され協賛しました。

- ・2018 ジュニア・ SHIPPING・ ジャーナリスト（JSJ）賞入選作品展

（公財）日本海事広報協会が主催した2018JSJ賞「国土交通大臣賞」ほか入

選作品展を8月1日(木)～9日(金)門司港レトロ地区の旧門司税関(13作品)、
8月19日(月)～30日(金)下関市役所新館1階ロビー(全6作品)を展示
しました。また、「日本の海を愛するパネル展」を開催した各ボートレース場
で「日本海事広報協会協会長賞」のパネルを展示しました。

・フェリーの見学と新聞づくり講習会を開催

8月19日(月)(公財)日本海事広報協会が主催した、新聞づくり講習会を
別府市立南小学校ホールで開催。南子育て仲よしクラブ、光の園子どもクラブ
の36人が参加、フェリーさんふらわあ「こばと」の船内見学で取材をして
新聞を作成、JSJ賞に応募しました。

(2) 海事広報宣伝物等の発行配付

主な海事広報宣伝物等は次のとおりです。

1. 九州海事広報協会会報(9月・1月の年2回発行)
2. 海上の友(毎月1回配付)
3. 日本の海運 SHIPPING NOW 2019-2020
4. 副教材「海運と船と港の役割」下関版、全国版
5. ぼくとわたしのシップガイド
6. 船ってサイコー!
7. 内航海運の活動
8. これが内航海運だ
9. 内航船 ペーパークラフト
10. 九州のフェリーガイド
11. 気軽な船旅フェリーパンフレット
12. 心に響く感動の船旅 クルーズをもっと身近に客船

※ 配布グッズ

- 「海の日」うちわ
- 「海の日」下敷き
- 「海の日」クリヤホルダ
- ポストカード(ミス日本「海の日」、海の日ポスター)
- ペン立て付きメモ帳
- 蛍光ペン
- シャープペンシル

Ⅲ. 庶務事項

1. 総 会

令和元年 5 月 15 日（水）於：北九州市 リーガロイヤルホテル小倉

(1) 平成 30 年度事業報告及び決算の承認に関する件

(2) 監事辞任に伴う役員選任に関する件

(3) その他（報告事項）

ア 令和元年度事業計画及び収支予算について

2. 理事会

(1) 平成 31 年 4 月 22 日（火）【書面による理事・監事全員の同意】

ア 平成 30 年度事業報告及び決算の承認に関する件

(2) 令和元年 5 月 15 日（水）於：北九州市 リーガロイヤルホテル小倉

ア 事業報告書等に係る提出書の承認に関する件

イ その他（理事会確認事項、代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告）

(3) 令和 2 年 2 月 20 日（木）於：北九州市 JR 九州ステーションホテル小倉

ア 令和 2 年度通常総会招集の決議に関する件

イ 令和 2 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認に関する件

ウ 「給与・旅費規程」改正の承認に関する件

エ 「職員の勤務時間、休日、休暇に関する規程」制定の承認に関する件

オ その他（代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告）

3. 監 査

平成 31 年 4 月 8 日（月）

当協会監事による平成 30 年度事業並びに収支状況の監査

4. 会 議 等

- ・平成31年 4 月 17 日 練習船「大島丸」体験航海実施企画打ち合わせ
(九州運輸局、下関市港湾局) (一社) 日本船主協会
- ・平成31年 4 月 18 日 練習船「大島丸」体験航海実施企画打ち合わせ
(北九州市港湾空港局) (一社) 日本船主協会
- ・平成31年 4 月 23 日 北九州港開港 130 周年記念事業第 1 回実行委員会
(プレミアホテル門司港)

- ・平成31年 4月 24～25 日海の仕事へのパスポート事業ほか打ち合わせ
(佐伯市教育委員会)
- ・令和元年 5月 17 日 北九州「海の日」表彰式第1回打ち合わせ会議
(門司港)
- ・令和元年 5月 20 日 (一社)北九州港振興協会総会 (小倉)
- ・令和元年 5月 31 日 北九州海の日協賛会行事担当者会議 (門司港)
- ・令和元年 6月 3 日 西日本海難防止協調運動推進連絡会議 (小倉)
- ・令和元年 6月 5～6 日 全国海事広報協会事務局長会議 (東京)
- ・令和元年 6月 7 日 北九州海の日協賛会理事・実行委員会合同会議
(門司港)
- ・令和元年 6月 17 日 関門港ボート天国推進協議会第1回作業部会
(門司港)
福岡市海の日協賛会総会 (福岡)
- ・令和元年 6月 19 日 海の日海峡クルージング実行委員会 (門司港)
- ・令和元年 6月 20 日 関門港ボート天国推進協議会総会 (門司港)
- ・令和元年 6月 21 日 九州クルーズ振興協議会総会 (福岡)
- ・令和元年 6月 28 日 関門地区海難防止強調運動推進連絡会議 (門司港)
- ・令和元年 7月 3 日 関門港ボート天国推進協議会第2回作業部会
(門司港)
- ・令和元年 7月 4 日 第56回中学生海の絵画コンクール審査会 (門司港)
- ・令和元年 7月 9 日 北九州「海の日」表彰式第2回打ち合わせ会議
(門司港)
- ・令和元年 7月 10 日 殉職船員慰霊祭、海上航行安全祈願 (門司港)
- ・令和元年 7月 17 日 北九州「海の日」表彰式 (北九州市)
- ・令和元年 7月 18 日 荏田港海の日記念式典 (荏田町)
- ・令和元年 7月 22 日 福岡市海の日式典及び海事功労者表彰式 (福岡市)
博多港開港120周年記念式典 (福岡市)
- ・令和元年 8月 23 日 北九州ゆめみらいワーク2019 (小倉)
主催：北九州市
- ・令和元年 10月 30 日 練習船「大島丸」体験航海実施企画打ち合わせ
(北九州市港湾空港局) (一社)日本船主協会

- ・ 令和元年 10 月 31 日 練習船「大島丸」体験航海実施企画打ち合わせ
(下関市港湾局) (一社) 日本船主協会
- ・ 令和元年 11 月 7 日 北九州海の日協賛会第 2 回理事会・実行委員会
(門司港)
- ・ 令和元年 11 月 16 日 北九州港開港 130 周年記念式典 (門司港)
- ・ 令和元年 12 月 18 日 「北九州港」編集会議 (北九州市港湾空港局)
- ・ 令和 2 年 1 月 14 日 令和 2 年新年賀詞交歓会 (海運 / 港運関係団体合同)
- ・ 令和 2 年 1 月 23 日 下関市教育委員会 (副教材 改訂打ち合わせ)
(公財) 日本海事広報協会
- ・ 令和 2 年 2 月 7 日 長崎市教育委員会 (海の教室説明) (長崎)
- ・ 令和 2 年 3 月 27 日 JSJ 賞大臣賞授与式 (下関)

IV. 付属明細書

令和元年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容上補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

令和元年度 決算報告書

(1) 貸借対照表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A - B)	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	0	0	0	
みずほ銀行（普通預金）	1,073,856	451,804	622,052	
北九州銀行（普通預金）	641,726	600,230	41,496	
未収金	194,200		194,200	日本海事広報協会委託費
流動資産合計	1,909,782	1,052,034	857,748	
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
退職給付引当預金資産	880,087	660,021	220,066	
(2) その他の固定資産				
敷金	0	0	0	
一括償却資産	41,328	82,656	-41,328	パソコン
固定資産合計	921,415	742,677	178,738	
資産合計	2,831,197	1,794,711	1,036,486	
II 負債の部				
1. 固定負債				
退職給付引当金	880,087	660,021	220,066	
固定負債合計	880,087	660,021	220,066	
負債合計	880,087	660,021	220,066	
III 正味財産の部				
1. 一般正味財産	1,951,110	1,134,690	816,420	
正味財産合計	1,951,110	1,134,690	816,420	
負債及び正味財産合計	2,831,197	1,794,711	1,036,486	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針（平成20年4月11日、内閣府公益認定等委員会）を適用して作成している。

(2) 正味財産増減計算書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A - B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	4,260,000	4,320,000	-60,000	
正会員	3,690,000	3,750,000	-60,000	
賛助会員	570,000	570,000	0	
事業収益	7,646,960	7,503,000	143,960	
受託事業収益	7,646,960	7,503,000	143,960	日本海事広報協会・日本モーターボート協会
受取負担金	20,000	20,000	0	
受取負担金	20,000	20,000	0	
雑収益	45,043	44,505	538	
受取利息	31	21	10	
雑収益	45,012	44,484	528	海上の友発送手数料
経常収益計	11,972,003	11,887,505	84,498	
(2) 経常費用				
事業費	10,205,541	10,130,432	75,109	
制作費	119,880	120,960	-1,080	
イベント開催費	2,986,400	2,686,400	300,000	
広報宣伝物費	60,006	337,216	-277,210	
事務管理費	109,128	84,009	25,119	
表彰費	53,352	51,084	2,268	
審査費	30,000	45,000	-15,000	
諸謝金	0	0	0	
臨時嘱託料	0	0	0	
給料手当	4,078,320	4,156,130	-77,810	
臨時雇賃金	10,000	10,000	0	賞状書代
退職給付費用 (引当金繰入)	176,000	176,000	0	
福利厚生費	566,022	561,112	4,910	
会議費	5,037	4,857	180	
旅費交通費	214,020	231,368	-17,348	
通信運搬費	296,774	311,037	-14,262	
一括償却資産減価償却費	33,062	33,062	0	パソコン
消耗品費	123,900	17,116	106,784	
印刷製本費	17,280	83,376	-66,096	
光熱水料費	0	51,153	-51,153	
賃借料	1,314,750	1,161,148	153,602	バス貸切・用船料・借室料等
雑費	11,610	9,404	2,206	
管理費	950,042	1,169,087	-219,045	
広告宣伝物費	2,851	81,604	-78,753	
給料手当	166,000	167,200	-1,200	
退職給付費用 (引当金繰入)	44,000	44,000	0	
福利厚生費	141,505	140,278	1,227	
会議費	295,074	277,405	17,669	総会・理事会等
旅費交通費	8,400	10,812	-2,412	
通信運搬費	45,255	36,363	8,891	
一括償却資産減価償却費	8,266	8,266	0	
消耗品費	30,975	4,279	26,696	
印刷製本費	84,550	52,650	31,900	
光熱水料費	0	12,788	-12,788	
賃借料	7,630	78,524	-70,894	
図書費	0	0	0	
交際費	0	0	0	
支払助成金	0	0	0	
支払負担金	88,000	93,000	-5,000	各種会費等
雑費	27,536	161,918	-134,382	移転費等
経常費用計	11,155,583	11,299,519	-143,936	
当期経常増減額	816,420	587,986	228,434	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	185,879	-185,879	敷金戻り収益
経常外収益計	0	185,879	-185,879	
(2) 経常外費用	0	185,879	-185,879	固定資産減損損失
経常外費用計	0	185,879	-185,879	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	816,420	587,986	228,434	
一般正味財産期首残高	1,134,690	546,704	587,986	
一般正味財産期末残高	1,951,110	1,134,690	816,420	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			0	
指定正味財産期末残高			0	
III 正味財産期末残高	1,951,110	1,134,690	816,420	

(注)「公益法人会計基準」の運用方針(平成 20 年 4 月 11 日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。